

# 令和6年度副業人材活用によるデジタル化促進事業委託業務 提案依頼書

## 1 本事業の背景及び目的

### (1) 背景

高知県UIターンサポートセンター（以下「センター」という。）では、県内企業が潜在的な力を開花させ、成長することにより、地域経済に新たな付加価値を創出し、地方への人の流れを生み出すことを目的に、必要なスキルを持ったプロフェッショナル人材と企業のマッチングのサポートに取り組んできました。具体的には、高い専門性やスキル等を生かし、経営者の右腕として、「新商品の開発」や「販路拡大」「業務の効率化」をはじめ、県内企業の成長戦略をサポートする人材（「プロフェッショナル人材」と呼んでいます）の企業への紹介などを行ってきたところです。

他方、高知県においては、高知県経済の体質強化に向けたトータルプランである「第4期高知県産業振興計画Ver.4」において「各産業分野におけるデジタル化の加速」を取組の柱の1つとして掲げ、労働生産性の向上を図るとともに、社会経済構造の変化に対応した持続的な成長の促進のため、各産業分野におけるデジタル化の取組の加速化を進めており、県内企業のデジタル化を推進するための人材の育成・確保を進めているところです。

全国的には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、リモートワークが普及。労働者の職業選択の幅が広がったことで、多様なキャリア形成を促進する観点から、主に都市部の大手企業やベンチャー企業において、副業が解禁されました。

「自分のスキルを生かし、地域の課題解決に貢献したい」と考える専門知識を持った人材が増加しており、こういった都市部の副業・兼業人材に、地方企業が抱える経営課題解決のための伴走支援をお願いする、副業・兼業人材の活用という新たな仕組みが広がってきました。

このような中で、本県においても、外部の人材を活用した県内企業の経営課題解決の手段の一つとして、コスト的にもメリットがある副業・兼業人材、とりわけデジタル人材を活用したい県内企業と、デジタル副業・兼業人材とのマッチングを進めることが有効と考えており、センター及び高知県において、令和3年度から副業・兼業人材活用を推進する取組に着手し、取組を進めているところです。

## (2) 目的

県内企業に対して、自社の経営課題解決のために副業・兼業人材を活用するニーズを創出し、求人を掘り起こすとともに、掘り起こした求人と副業・兼業人材、とりわけデジタル人材とのマッチングを行うことで、県内企業の課題解決やデジタル化につなげ、県内企業の労働生産性の向上を図ります。

## (3) 目標

県内企業と副業・兼業人材とのデジタル案件でのマッチング 30 件を目標とします。

## 2 令和 5 年度実績と取組内容（令和 6 年 3 月末時点の数値）

### (1) 実績（本委託業務のみによる実績）

デジタル副業マッチング 19 団体 28 件（R3：10 団体 12 件、R4：20 団体 28 件）

### (2) 取組内容

取組①：県内企業へのデジタル副業求人活用啓発

- ・ 9/5 「DX・IT 人材の「副業」活用体験談セミナー副業・兼業人材活用セミナー」開催  
(参加者：35 名)
- ・ 10/27 須崎商工会議所にて「副業・兼業人材活用についての合同説明会」開催（参加者：4 名）
- ・ 1/26 「SNS 戦略運用セミナー」開催（参加者：10 名）

取組②：企業訪問等を通じた県内企業からのデジタル副業求人獲得及び求人作成支援（83 社訪問）

取組③：副業マッチングサービス（R5 は「Skill Shift」を活用）Web サイト上での高知県特設ページの開設及び当該サービス登録者とのマッチング（21 件）

取組④：副業マッチングサービスへの求人掲載料の無料キャンペーン（取組③のうち、21 件）

取組⑤：副業に関心のある「高知家の IT」（高知県が実施する「首都圏等人材確保事業」R5 年度をもって事業終了）会員への個別サポートを通じたマッチング（5 件）

取組⑥：「高知家の IT」会員と契約した場合、初月の副業報酬の無料キャンペーン（取組⑤のうち、3 件）

### 3 委託業務の内容及び提案を求める事項

以下（１）～（５）のうち、【提案を求める事項】についてご提案ください。

その際、別途記載している【業務内容】を必ず実施することとして、提案及び見積してください。

#### 【業務内容（共通事項）】

- ・運営にあたっては定例会を開催し、進捗の報告、直面する課題の共有及び対策の検討等を行うこと。
- ・定例会の頻度やアジェンダについては、センター及び高知県と協議して決定すること。
- ・定例会の参加者は、受託者のほかに、センター及び高知県とすること。

#### （１）デジタル副業・兼業人材活用に向けた取組の視点・考え方

##### 【提案を求める事項１】

令和３年度から取り組みを進めるうえで、県内企業には「副業・兼業人材を活用したい」というニーズが顕在化していないことが大きな課題であると考えています。この取組を広げていくためには、副業・兼業人材を活用することの有効性を県内企業に対していかに周知できるかが重要であると考えています。

以上を踏まえて、本提案依頼書「１」に記載の目的を達成するため、どのような取組が有効と考えるのか、

- ①県内企業への副業・兼業人材活用という仕組み（メリット等）の周知
- ②県内企業におけるデジタルに関連する副業・兼業人材活用ニーズの創出及び求人の掘り起こし
- ③県内企業とデジタル副業・兼業人材とのマッチング推進

の３つの視点を踏まえ、取組みの方向性について、提案してください。

（取組みの方向性で可（具体的な取組みは、事項２～５において提案してください））

## (2) 副業・兼業人材活用の仕組み、メリット等の県内企業への周知

### 【提案を求める事項2】：後述の【業務内容】に留意して提案してください

これまでの取組から、副業・兼業人材活用について、県内企業からの認知、関心がまだまだ低く、より一層の周知が必要であると考えています。一方で、既に活用している県内企業からは、デジタル副業・兼業人材活用の有効性について高い評価をいただいています。

以上を踏まえて、

①県内企業に対して、広く周知するための手法、ツール等

②県内企業に対して、誤解無く理解してもらい、活用イメージを持ってもらうための伝達内容

の2つの点を押さえたうえで有効と考える情報発信の戦略について、提案してください。

既存の活用可能なツールとしては、企業向けLP (<https://company.itwork.kochi.jp/>) があります。

### 【業務内容】

- ・チラシやSNS、Web ページなど、新たなツールを使って情報発信する場合は、そのために必要な手続き及びコンテンツの作成まで、すべて当委託事業内で行うこと。その内容については、事前にセンター及び高知県と協議のうえ決定すること。
- ・企業向けLP (<https://company.itwork.kochi.jp/>) を、センター及び高知県と協議のうえ、R6 年度版の内容に更新すること。なお、当該LPはWordpress を用いて作成されていますので、活用する際は編集可能なアカウントを付与します。
- ・関連するセンター及び高知県の取組について、センター及び高知県の依頼に応じて企業に案内すること。
- ・県内企業に訴求できるようなモデルになり得る実績が出た際には、広報ツールとして事例を活用するため、当該企業に取材を行い、情報発信できるようコンテンツ化すること。
- ・受託者が県内企業を対象としたセミナー等、イベントを通じて周知を図る場合は、センターと協議のうえ登壇者及び会場等を決定するとともに、決定後は登壇者及び会場等との調整、登壇者や会場使用料の支払い等を行うこと。
- ・イベント後は、アンケートを作成し、参加者から回答を集めること。アンケート項目はセンターと協議のうえ決定し、アンケート結果をセンターと共有すること。
- ・イベントの内容は記録（写真撮影、画面キャプチャ、録画、録音など）すること。また、撮影した写

真は、センター及び高知県の要請に応じて提出すること。なお、撮影した写真や動画等を Web サイトや SNS に公開する場合は、事前に参加者の同意を取ることを。

- ・センターが主催する県内企業を対象としたイベントについて、センターと協議のうえ登壇者及び会場等を決定するとともに、決定後は登壇者及び会場等との調整、登壇者や会場使用料の支払い等を行うこと。また、イベントの企画段階から関与することとし、以下の業務を行うこと。

○Web サイトや SNS アカウント等を活用した集客

○イベント参加者の申込受付、申込管理、申込者との間に発生する調整

○アンケートを作成し、参加者からの回答の収集

○会場の設営（オンラインの場合は環境の構築）、撤収（オフラインのみ）、現状回復（オフラインのみ）、受付（オンラインの場合は参加者のカウント）、司会進行、運営に必要な物品の準備、スタッフの配置など、運営に必要な業務

○イベントの内容は記録（写真撮影、画面キャプチャ、録画、録音など）

○レポートを作成し、Web サイト 1 (<https://kicnetwork.kochi.jp/>) で公開

(※) R5 年度のセミナー等の概要

**【人事課題解決セミナー】**

- ・R6. 2. 21 開催（13:30～16:00）
- ・参加者数：高知県企業 22 社 29 名（人事担当役員クラス）
- ・プロ人材による講演、国際社会貢献センター（ABIC）の事業紹介
- ・プロ人材 5 名と参加企業によるグループディスカッション

### (3) 県内企業のデジタル副業・兼業人材ニーズの創出・求人掘り起こし

**【提案を求める事項3】**：後述の**【業務内容】**に留意して提案してください。

これまでの取組から、県内企業には「デジタル副業・兼業人材を活用したい」というニーズが顕在化していないと考えています。そのため、デジタル副業・兼業人材を活用したことがなく、デジタル副業・兼業人材そのもののイメージが沸かない県内企業が大半という状況です。さらに、デジタル副業・兼業人材を活用したいと思ったときに、どの業務を切り出すのか、どのように求人票に落とし込むのかといった点がボトルネックとなるケースも多くあります。

以上を踏まえて、

①新たな訪問先をどのように開拓していくか

②県外企業に対して、どのようにデジタル副業・兼業人材を活用するニーズを創出、顕在化させるか

③ニーズが顕在化した場合に、どのようにデジタル関連の求人作成につなげるか

の3つの点について、効果的と考える方法を提案してください。

※対象とする県内企業はデジタル技術などを活用して経営課題の解決を図る企業全般とし、業種を問いません。

#### **【業務内容】**

- ・副業・兼業人材活用の取組を周知し、ニーズを創り出し、求人の掘り起こしを行うための県内企業への訪問を行うこと。
- ・訪問先の選択には、自社のネットワーク及びセンター及び高知県のネットワークを活用することとし、センター及び高知県と事前に役割分担のうえ、実施すること。
- ・限りあるリソースでなるべく多くの県内企業に周知を行うため、高知県産業振興センターをはじめとする、県内企業への支援を行う各支援機関と連携すること。
- ・接触した企業と相手方の役職・氏名、訪問者の氏名とその日付等を記録すること。管理する情報は、センター及び高知県と協議のうえ決定すること。
- ・企業情報の管理・共有を円滑にするためにクラウドサービスを利用する場合は、ISMAP クラウドサービスリスト ([https://www.ismap.go.jp/csm?id=cloud\\_service\\_list](https://www.ismap.go.jp/csm?id=cloud_service_list)) で指定するサービスを使用するよう留意すること。

#### (4) 県内企業とデジタル副業・兼業人材とのマッチング

**【提案を求める事項4】**：後述の**【業務内容】**に留意して提案してください。

これまでの取組から、都心部のデジタル副業・兼業人材は数多く存在しているため、求人さえできてしまえば、人材の募集には困らない傾向があります。しかしながら、副業・兼業人材の活用が初めてとなる県内企業が、人材の選考にあたって苦勞するケースが多くあり、選考基準を設定を誤り良い人材から応募があるのに採用できない、選考に想定よりも時間がかかり人材とスケジュールがあわなくなる、といったミスマッチが起こっています。

以上を踏まえて、

- ①デジタル副業・兼業人材をどのような仕組みで確保するか（イベント、既存の副業プラットフォーム、自社ネットワーク等）
- ②県内企業とデジタル副業・兼業人材をいかに円滑にマッチングさせるか（企業側へのサポート、人材側へのサポート）

の2つの点について、効果的と考える方法を提案してください。

#### **【業務内容】**

- ・デジタル副業・兼業人材とのマッチングを図るため、業務の切り出し、求人票の作成、選考支援、マッチング後のアフターフォローなど、県内企業に対する適切なサポートを行うこと。
- ・既存の副業プラットフォームを活用する場合は、当該プラットフォームのサービス内容（料金形態、受託者とプラットフォームの役割分担）をセンター及び高知県に事前に説明すること
- ・マッチング実績を管理し、各月末締での状況をセンター及び高知県に報告すること。
- ・管理する情報は、センター及び高知県と協議のうえ決定すること。

#### (5) その他提案事項

**【提案を求める事項5】**

上記(2)～(4)に記載している業務に限らず、本業務をより効果的に実施するための独自の企画等を提案してください。

### 3 次年度の委託先への業務引継ぎ

令和6年度の業務が次年度に他の事業者に交代した場合には当該受託者に対し、本事業の運営に必要なデータの受け渡しを含む適切な業務の引継ぎを行うこと。

### 4 履行期間

契約締結日から令和7年3月14日（金）まで

### 5 業務計画書

契約締結後、10日以内に業務ごとのスケジュールを整理した業務計画書及び業務実施体制を提出すること。

### 6 業務報告書

本業務が終了したとき、次に掲げる内容等をまとめた「業務完了報告書」をセンターに提出すること。提出物は紙媒体1部及びデータとし、添付資料の提出方法については、センターと協議のうえ決定する。

#### (1) 報告書本体

##### ①実施業務と実績

- ・ 数値目標に対する実績
- ・ 各イベント等の開催実績

##### ②結果考察（効果検証、課題、次年度への提案等）

#### (2) 添付資料

##### ①各イベントの参加者リスト

##### ②県内企業訪問リスト



- ③掘り起こした求人リスト
- ④会員個別サポートリスト
- ⑤副業従事者リスト
- ⑥その他、センターの指示するもの

## 7 その他の留意事項

- ①本業務の実施にあたっては、「1 本事業の背景及び目的」に掲げる業務の目的に沿い、より効果的な方法を選択して誠実に実施すること。
- ②「3 委託業務の内容及び提案を求める事項」に定める本業務の成果物に関する著作権は、全て受託者からセンターに移転するものとする。また、制作物の作成にあたっては、他社の権利を侵害することのないよう十分に留意することとし、万一、トラブルが発生した場合には受託者の責任において対応することとする。
- ③本業務の一部を再委託する場合は、事前に再委託の範囲、再委託先をセンターに提示し、了承を得ることとする。また、再委託先に問題が生じた場合には、受託者の責任においてこれを解決することとする。
- ④本仕様により難い事情が発生した場合は、センターと受託者及び高知県が協議のうえ対応を決定する。
- ⑤その他、本業務の実施に必要な事項は、センターと受託者及び高知県が協議のうえ定める。

## 8 守秘義務

本業務を通じて知り得た個人情報及び機密情報については、厳重に取り扱い、漏えい及び盗用をしてはならない。インターネット上で情報共有やコミュニケーションを行う際には、共有範囲（その情報が必要な関係者に限る等）や共有方法（アクセス認証を設定する等）に、特に留意すること。

## 9 提出書類

提出書類、様式及び提出部数を次表に示します。

様式番号	提出書類の名称	規格及び 制限枚数	提出 部数
1	表紙	【様式ア】 A 4 縦、片面 1 枚	・紙：1 部  ・PDF データ： 1 ファイル  ※データは 1 ～ 6 で 1 ファ イルとするこ と
2	提案書	【様式任意】 A 4 縦又は横、片面 20 枚以内	
3	実施体制	【様式任意】 A 4 縦又は横、片面 4 枚以内	
4	スケジュール	【様式任意】 A 4 縦又は横、片面 4 枚以内	
5	経費見積書	【様式任意】 A 4 縦又は横、片面 4 枚以内	
6	法人概要書	【様式任意】 A 4 縦又は横、片面 4 枚以内	

※A 3 を利用する場合は、A 4 サイズに折りたたんでください。

※A 3 の 1 面は A 4 の 2 面とカウントします。

※様式番号 2 以降に通しページ番号を記載してください。

※経費見積書は、できるかぎり詳細に記載してください。(例：セミナー等の会場使用料、登壇者の謝金、掲示物の作成、広告費、営業ツールの制作、その他事業の実施に必要な経費)

※実施体制は、事業に携わる職員全体の体制、職名、経歴、役割分担等も記載すること。

様式ア

令和6年度副業人材活用によるデジタル化促進事業委託業務

企画提案書

令和 年 月 日

(一社) 高知県UIターンサポートセンター

代表理事 様

所在地 \_\_\_\_\_

事業者名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_ 印

<連絡先>

担当者名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_